

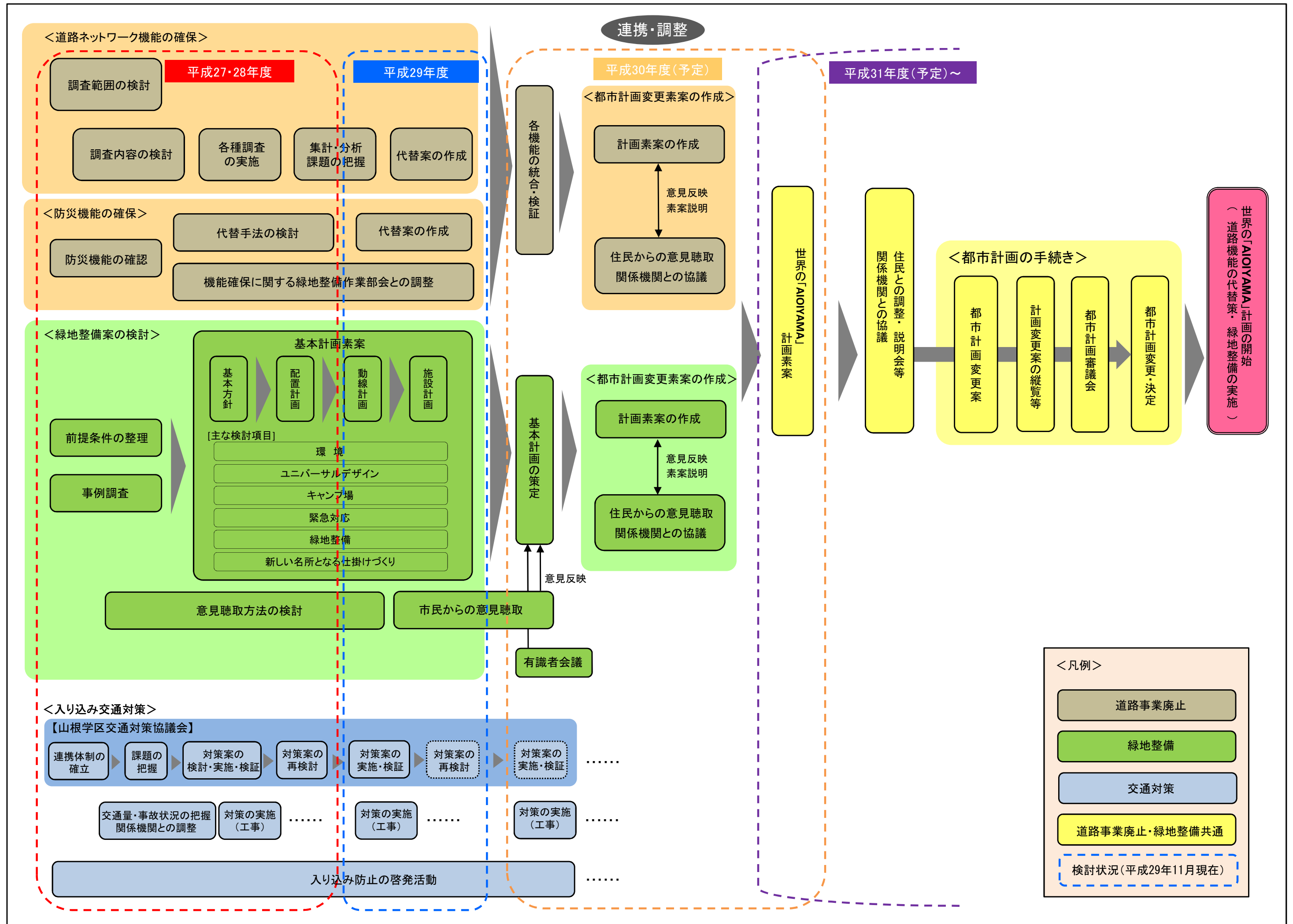
世界の「AI0IYAMA」プロジェクト検討会議（第１０回）

日 時：平成２９年１１月１６日

場 所：本庁舎２階 第１会議室

< 議 題 >

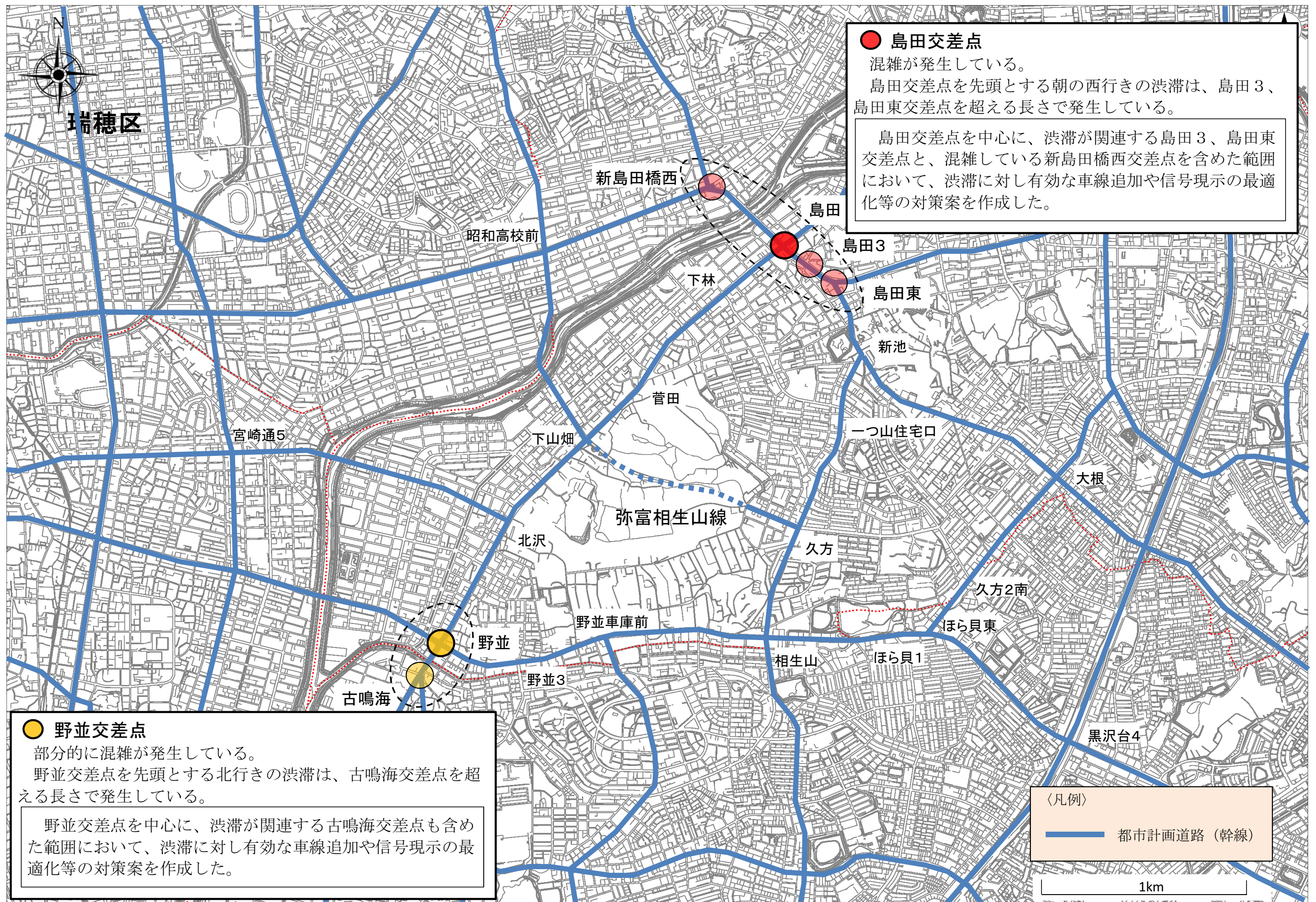
- 1 各作業部会の検討状況について
 - 2 来年度予算について
 - 3 その他
 - ・ 次回の検討会議について
- 【資料１】
【資料２～５】



道路ネットワーク機能に関する代替案の検討結果について

資料2

確認された交通課題に対し有効な対策案を作成し、道路ネットワーク機能の代替案として取りまとめた。今後、代替案に係る機関との協議準備を進めていく。



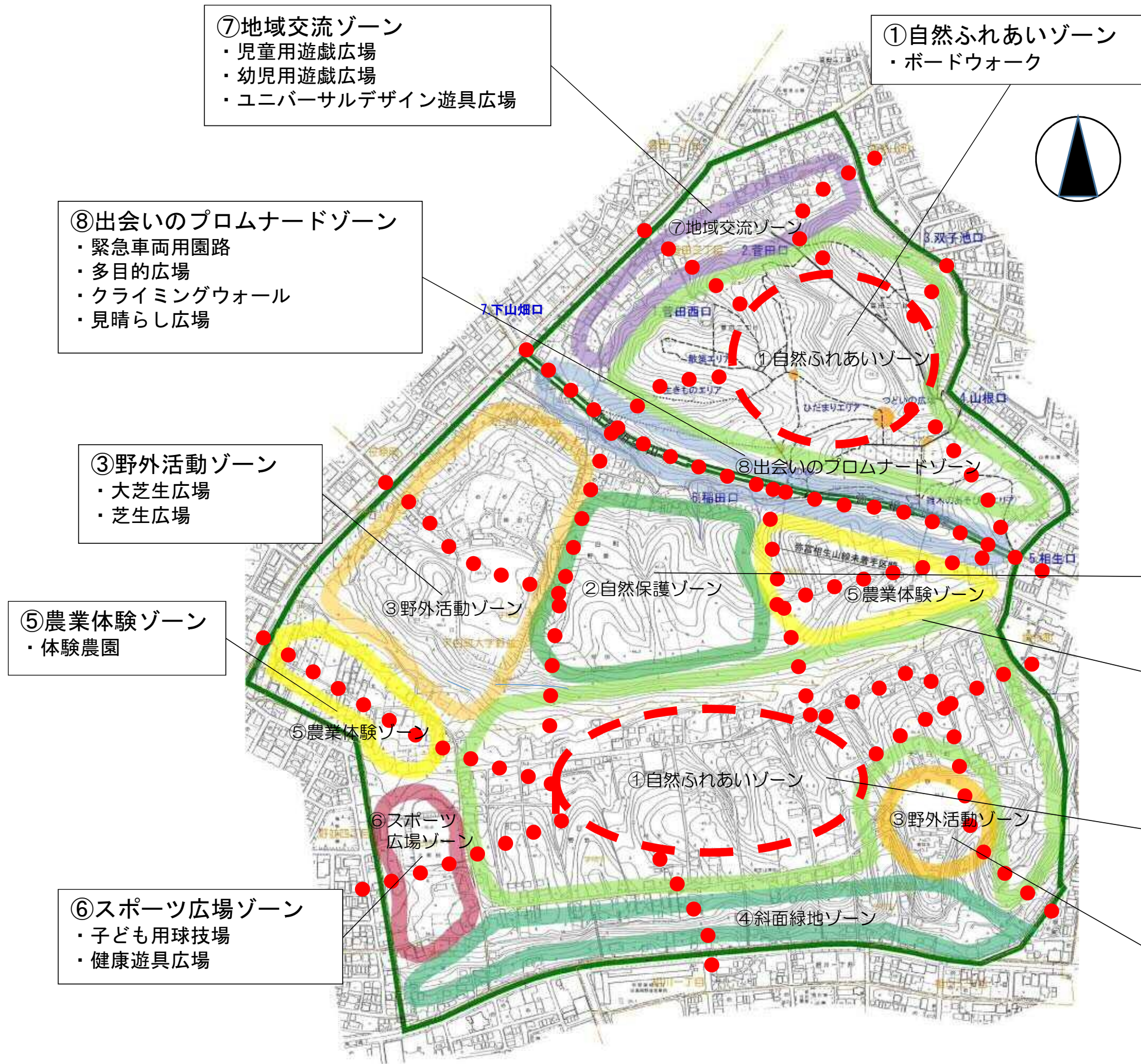
ゾーニング及び主要施設・動線の概要について

資料 3

＜凡例＞

- : 動線イメージ
- ~~~~~ : 回遊動線イメージ
- : 都市計画区域
(平成29年11月現在)
※区域の見直しを検討中

記号	ゾーン名
■	①自然ふれあいゾーン
■	②自然保護ゾーン
■	③野外活動ゾーン
■	④斜面緑地ゾーン
■	⑤農業体験ゾーン
■	⑥スポーツ広場ゾーン
■	⑦地域交流ゾーン
■	⑧出会いのpromナードゾーン



交通対策作業部会の検討状況(平成29年11月現在)

対策ステップ

ステップ1 地元との連携体制をつくる

- 連携の体制(協議会等)について検討します
- 協議会員以外の地元の方の意見を反映する方法を検討します

ステップ2 課題を知る

- 地区の道路で、問題や不安に感じていることや場所について意見を出し合います
- これまでの調査結果と併せて、課題を具体的に整理し、共有化します

ステップ3 対策案を考える

- 対策を行う場所と手法を検討し、対策を決定します

ステップ4 対策を実施する

- 対策前の交通状況調査を行います 平成29年6月22日実施
- 対策工事を実施します 平成29年8月21日完了

ステップ5 対策の効果を検証する

- 対策後の交通状況調査を行います 平成29年9月14日実施
- 集計、分析して課題の把握及び検証を行います

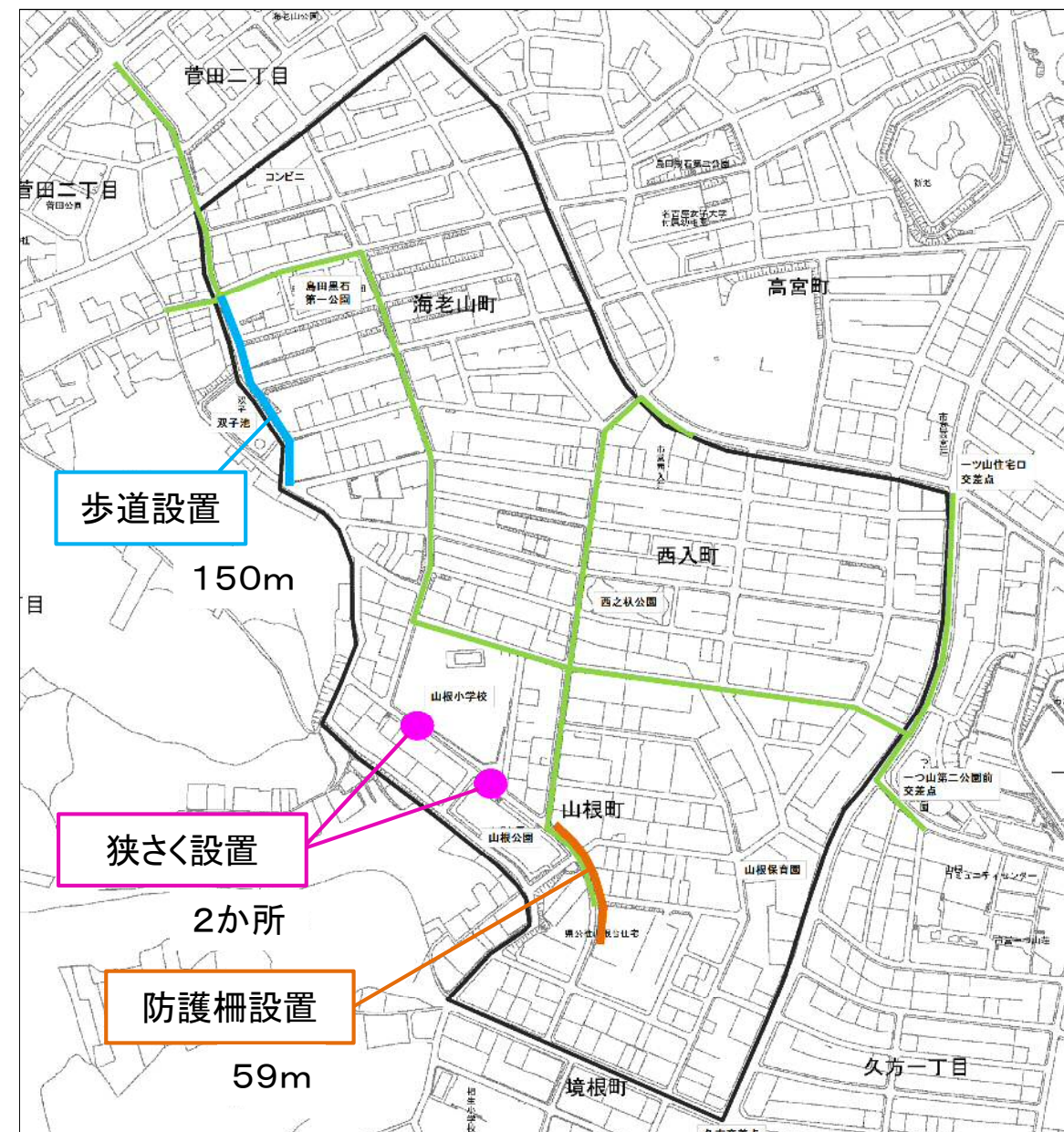
<凡例>

過年度実施

平成29年度検討中

平成30年度(予定)

平成29年度 対策の実施内容・箇所



<凡例>

□ 対策範囲

— 歩道設置

— 通学路

● 狭さく設置

— 防護柵設置



入り込み交通対策の効果検証について

1 調査概要

(1) 目的

弥富相生山線の近隣地区に出入りする車両について、対策工事前後の通り抜け台数と車両の速度状況を調査し、対策効果の検証をする。

(2) 調査日

事前調査 6月22日(木)

事後調査 9月14日(木)

(朝7～9時、夕5～7時の各2時間)

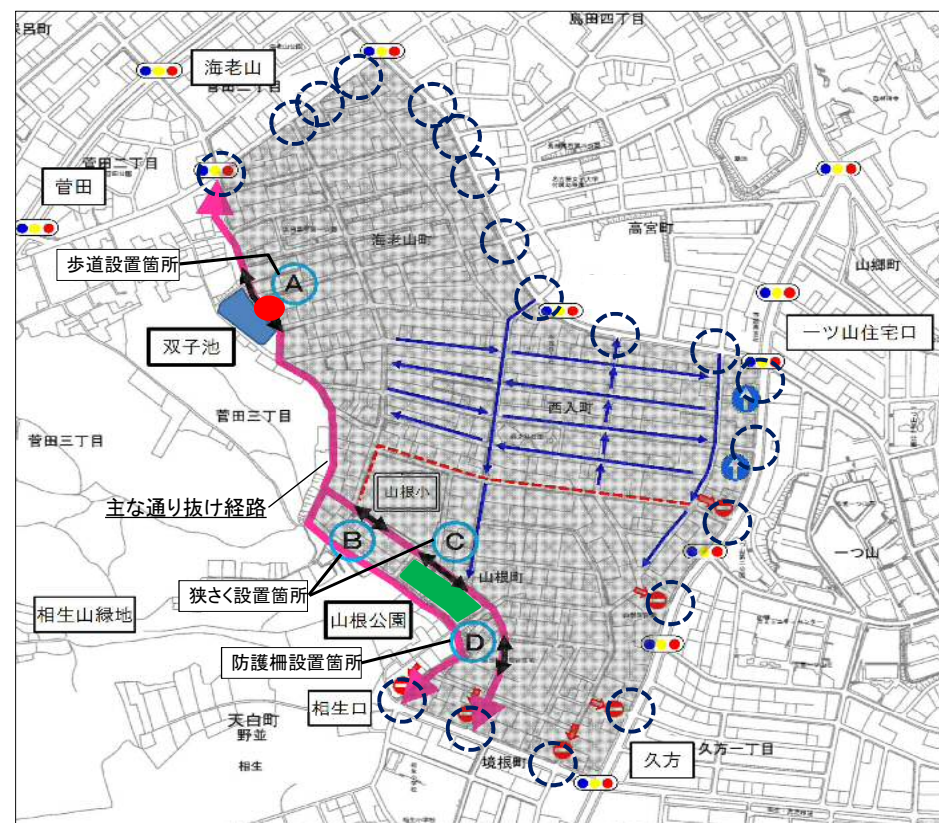
(3) 主な調査内容

ナンバープレート調査 (○)

速度状況調査 (○)

双子池前の交通量調査 (●) *朝7～夕7時

(4) 調査箇所



2 平成29年度 対策の工事内容

- | | |
|-----------|------|
| (1) 歩道設置 | 150m |
| (2) 狭さく設置 | 2か所 |
| (3) 防護柵設置 | 59m |

3 平成29年度の対策工事前後での状況の変化

- (1) 通り抜け台数 (朝7～9時、夕5～7時の各2時間)
694台 ⇒ 566台

※昨年度事前調査が565台、事後調査が523台

- (2) 双子池前の交通量 (朝7～夕7時)
1,388台 ⇒ 1,338台

- (3) 対策工事実施箇所における30km/h以下の車両の割合
29% ⇒ 43% (14%増)

4 対策後の地元の主な意見

- 昨年度対策した、交差点のカラー化などにより、一旦停止を守る車が増え安全になった。また今回の歩道設置や防護柵設置により、安心して歩けるようになった。
- 狭さく設置により、車のスピードが落ち安全になったので、他にも狭さくを設置してほしい。
- 子供がよく遊ぶ山根公園の近くの交差点では、まだ一旦停止をしない車があるため、危ないと感じている。
- 久方交差点から相生口までの車道は広いので、駐車車両も多く、車も頻繁に通るうえ、スピードも早いため危険だ。

5 今後の進め方

- 平成29年度に実施した対策により、交通量はあまり変化が見られなかったが、対策箇所においては、ゆっくりと走行する車両が増え安全性は高まった。
- 今後も、山根学区交通対策協議会にてさらなる対策を検討し、児童や高齢者が安心して歩ける環境作りに取り組む。